

がんばったね

市長杯軟式野球大会 レッドゾーンが初優勝



白熱した決勝戦を繰り広げた

第36回柳川市長杯争奪軟式野球大会の決勝戦が7月10日、市民三橋グラウンドで開催され、Red Zoneが2-0で白梅ベースボールクラブを下して初優勝に輝きました。

2回表にレッドゾーンが集中打で2点を先制。その後は、お互いスコアボードにゼロが並び白熱した投手戦となりました。最終回の7回裏に、白梅ベースボールクラブは四死球でノーアウト満塁のチャンスをつかみますが、一歩及ばず、レッ



中島(上)と豊原の両チームが出場を報告



バスケットボール県大会に中島と豊原が出場

ドゾーンが逃げ切りました。バスケットボール県大会に中島と豊原が出場。8月4、5日に福岡市で開催される第28回福岡県ミニバスケットボール交歓大会に、男子の中島と、女子の豊原の両ミニバスケットボールクラブが出場します。両クラブは、6月に行われた地区大会で優勝。県大会には、中島が昨年にも出場し、豊原は初出場です。両クラブは7月11日、市役所柳川庁舎を訪れ、金子市長に県大会出場を報告。中島の西田一貴主将(中島小6年)は「試合で一人ひとりが頑張つて、優勝を狙います」、豊原の中嶋唯主将(矢留小6年)は「まずは予選リーグで1勝したい

柳川クラブがバレーボールの全国大会へ



全国大会での活躍を誓ったメンバーら

です」とそれぞれ抱負を述べました。柳川クラブがバレーボールの全国大会へ。8月3日から6日にかけて長野県で行われる平成24年度全日本9人制バレーボールクラブカップ男子選手権大会に、柳川クラブが出場を決めました。6月に県予選会で4戦全勝で優勝。2年連続で出場し、昨年はベスト8まで駒を進めた実績を誇ります。

7月18日に、市バレーボール協会の川口聡会長、同クラブの牛島正樹主将と山田遼貴さんが、北川教育長、市体育協会の高田治吉会長に出場を報告。牛島主将は「一番上を目指して頑張ってきます」と意気込みを語りました。



古賀 大翔 くん 栄
8月2日生 父：謙司

お誕生日おめでとう★はるとの笑顔が大好き♪元気いっぱい大きくなってね!

何事にも負けず強い子になってね◎★



伊藤 麗皇 くん 久々原
8月3日生 父：寛徳

結菜1歳のお誕生日おめでとう♪お兄ちゃんと仲良く、元気に育ってね!!



野口 結菜 ちゃん 東蒲池
8月3日生 父：真澄

もちふみデビュー (8月生まれ)

●応募方法 写真(裏に名前を明記)と、赤ちゃんの名前(ふりがな)、生年月日、性別、保護者1人の名前(ふりがな)、住所、電話番号を書いて〒832-8601 市企画課広報聴係までお送りください。

※市役所各庁舎のモニターでも紹介します。

●対象 満1歳の誕生日を迎える市内の赤ちゃん(9月号は平成23年9月生まれ)

●締め切り 9月生まれは8月15日まで ネットでも応募できます

市のホームページからインターネットでも応募できます。デジタルカメラの写真もそのまま送れます(確認メールの返信あり)。

●問い合わせ先 同係 ☎77・8425 ※24日以降生まれは8月15日号



大橋 弦一 くん 垂見
8月10日生 父：真一

おめでとう!これからも素敵な笑顔を見せてね★ひなちゃんだあいすき★



古賀 美南 ちゃん 西浜武
8月18日生 父：悟史

弦ちゃんお誕生日おめでとう!心も体も大きく元気に育ってね

すーちゃんお誕生日おめでとう!これからも笑顔で元気いっぱい大きくなってね!



森田 穂 ちゃん 蒲船津
8月19日生 父：賢



堤 美凧 ちゃん 皿垣開
8月21日生 父：一利

みなちゃんお誕生日おめでとう!!お姉ちゃん、お兄ちゃんと仲良くね♡元気に大きくなってね😊😊

たくさん遊んで元気に育ってね



甲木 愛菜 ちゃん 東蒲池
8月23日生 父：俊二

地域子育て支援センター

親子で遊びに来ませんか

- 対象 幼稚園、保育園に通っていない幼児とその家族
- ▶ピコクラブ=正光乳児保育園(細工町☎72・9066)で毎週月~木曜日の午前10時~午後3時、毎週金曜日は水の郷キッズルームで午前10時~11時30分
- ▶わくわくひろば=垂見保育園(垂見☎73・6742)で毎週月~

- 金曜日の午前10時~午後3時
- ▶バンバン=あけの保育園(明野☎76・4473)で毎週月~金曜日の午前10時~午後3時
- ▶つどいの広場「このゆびとまれ」=市柳城児童館(日吉神社横☎72・7706)で毎週月~金曜日、午前10時~午後4時。※毎月最終月曜日は、午後0時30分~※いずれも無料。事前申し込みが必要な場合があります。※子育て相談は随時受け付けます。

柳川にこの人あり vol.31



しょういち 金子 正一さん 久々原・62歳

研究重ねて大臣賞受賞

第40回平成23年度全国大豆類経営改善共励会大豆経営の部で、6月20日、金子正一さんが農林水産大臣賞を受賞しました。金子さんは「立派な賞をいただいたとてもうれしい。これも田んぼを貸してくれている人たちや、JA柳川の職員などのおかげです」と感謝の気持ちを述べました。

同共励会には、全国から大豆や落花生など計195点が出品。金子さんは、九州代表として2011年産の大豆の審査を受け、見事同賞を受賞しました。金子さんは「フクユタカ」と「すずおとめ」という2種類の大豆を約18ヘクタールで作付しています。フクユタカは10アルあたり341kgと、県平均の204kgを大きく上回る取量を実現。また1等比率が約97%の高品質であることが受賞の決め手となりました。金子さんは「大豆づくりには、天気をみながら種をまき、発芽をそろえることが重要なんです。始めるころはうまく発芽させることができませんでした。研究を重ねて、毎年工夫しながら作付しています」と語ります。今後は「規模を拡大して、立派な大豆がとれるように努力していきます」と瞳を輝かせていました。



6月29日に金子市長に受賞報告をした金子正一さん(中央)